

共感的な人間関係を育成し、「対話」を支える学級活動 ～二年間の話し合い活動「クラス会議」の実践を通して～

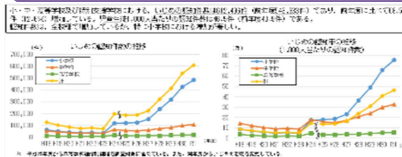
木下将志（千曲市立治田小学校）

1 研究主題の設定

1.1 今日の背景と課題

～いじめ認知件数増加とコロナ禍による対人関係の希薄さ～

- ・文部科学省の調査によれば、令和元年の全国のいじめ認知件数は、前年度に比べ増加している傾向が見られる。とりわけ、小学校におけるいじめ認知件数の増加が著しい。
- ・長野県でも、小学生のいじめ認知件数は例年増加傾向にある。
コロナ禍の影響も踏まえ、児童の対人関係の希薄さが原因



学年	2017	2018	2019	2020	21
小学校	816	2,999	3,971	6,533	7,697
中学校	619	987	1,079	2,168	1,912
高等学校	96	133	184	304	283
特別支援学校	11	23	36	85	94
合計	1,536	4,142	5,253	8,995	9,989

1.2 本校及び児童の実態

～自分の考えに自信がもてず、同調する子どもたち～

- 「学級満足度尺度（Q-U）」では、学級満足度90%以上と「親和的でまとまりのある学級集団（満足型）」
- 一見、協力的で安定した人間関係が構築できているように見えるが、その一方で、**発言の強い児童に同調しがちな傾向**が見られる。
- 女子児童が多く、**グループで行動することが多くなり、関係が固定化**することもある。
- そのような傾向によって、**自分の考えに自信が持てず、考えを発言することが苦手な児童が多い**
- 自分の本音を素直に語ることができず、対話が成立しづらい**

1.3 学級活動における話し合い活動の意義

～対話的な学びを支える学級経営の充実～

- ・平成29年度に告示された小学校学習指導要領において、「**学習や生活の基盤として、教師と児童との信頼関係及び児童相互のよりよい人間関係を育てるため、日頃から学級経営の充実を図ること**」
- 学級経営の充実を図ることが対話的な学びの促進につながる。**
- ・文部科学省は、学習指導要領特別活動解説編において、「**学級活動における児童生徒の自発的・自治的な活動を中心として、各活動と学校行事を相互に関連付けながら、学級経営の充実を図ること**」。
- 学習指導要領において、特別活動で求められる資質・能力は、**話し合い活動**によって形成される力が重視されている
- 学級活動の中心となる活動として、「話し合い活動」を基盤とした学級経営の充実**

2 クラス会議の構想

- ・発言量を増やし、対話を深めるためには、**①発言の対等性、②共感的に聴く姿勢**を育て、誰でも発言しやすい雰囲気、環境をつくる必要性
- ・「対話」を深めるためには、まずは相手の話を**共感的に「聴く」**ことが前提条件
- 学級活動における話し合い活動は、話す時間よりも圧倒的に「聴く」時間のほうが長い。
- 共感的に聴き、仲間と協働して問題を解決する体験**を通して、**対等な関係性**を構築しながら対話を深める児童の姿の具現を図りたいという願いで、本テーマを設定した。

2 クラス会議の構想

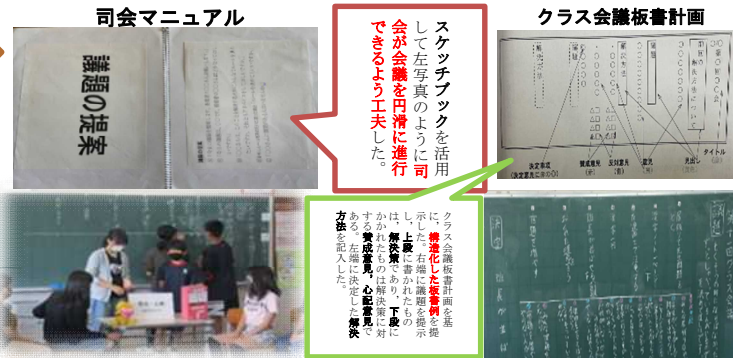
2.1 クラス会議の設定～アドラー心理学に基づく話し合い活動～

- 学級会との明確な違い
- ・一つ目は、議題を話し合う前に、「**認め合い活動**」を行うことである。友だちへの感謝やよいところを公表し合った。
- ・二つ目は、**発言の輪番制**である。対等性を意識させるため、輪（円）の中心に議題があると想定し、皆が対等な関係であるという象徴として輪（円）を作り、全員が意見を述べる。
- ・三つ目は、議題に「**個人の悩み**」を提案し、学級全体で話し合う事ができるということである。個人的な悩みをみんなで解決策を出し合い提案者へのアドバイスを考えることができる。
- 問題解決をゴールとせず、仲間の発言を共感的に聞き、みんなで創ることを意識**

クラス会議授業デザイン

番号	内容
1	円（輪）になる。新型コロナウイルス感染症によって話し合いの決まりの確認
2	認め合い活動（ハッピー・サンキュー・ナイス）
3	前回の解決策の振り返り
4	議題及び提案理由の確認
5	解決策を出し合う（ペアで相談あり）
6	解決策に対して賛成・心配意見を出し合う
7	決定（多数決）
8	振り返り（司会員の感想・教師の振り返り）

2.2 クラス会議による学びをサポートする手立て



3 子どもたちの変容

3.1 話に耳を傾けて聴くことの大切さに気づき、自分の意見を伝えられたA児

A児は、5学年の春に転校してきた女の子である。コロナ禍の影響で、始業式直後の休校等もあり、級友の前で発言することが苦手であった。

クラス会議を通して、「**人の話を聴けるようになったこと**」を成長に挙げている。特に、自分の意見だけでなく、**相手の意見を踏まえて考えを述べられるようになったこと**や、友達の意見に納得でき、みんなで決めた解決策に思いをもって、取り組むことができた成長が伺える。

仲間と共感的に聴く姿勢を大切に、仲間の考えを踏まえながら仲間と意見を出し合う楽しさを感じることができた。A児は協働の楽しさを実感していた。

「クラス会議をしてみて感じたこと、成長したこと」についてのインタビュー

発言者	発言内容
19 教師	なるほどね。クラス会議やって、なんか自分自身、変わったなとかさ。思うところある？
20 A	なんか、人の意見を、 自分の意見だけでなく、相手の意見を踏まえて考えを述べられるようになったこと 。それと、自分の意見を、 自分の意見だけでなく、相手の意見を踏まえて考えを述べられるようになったこと 。それと、自分の意見を、 自分の意見だけでなく、相手の意見を踏まえて考えを述べられるようになったこと 。
25 教師	なるほどね。クラス会議をみて、なんでもかきとっていったのかな？
26 A	うーん、やっぱり、その、 自分の意見を踏まえて、相手の意見を踏まえて、みんなで決めた解決策に思いをもって、取り組むことができたこと 。それと、自分の意見を、 自分の意見だけでなく、相手の意見を踏まえて考えを述べられるようになったこと 。それと、自分の意見を、 自分の意見だけでなく、相手の意見を踏まえて考えを述べられるようになったこと 。
27 教師	Aさん的には、人の話を聴けるようになったことが一番成長できたのかな？
28 A	うーん、やっぱり、その、 自分の意見を踏まえて、相手の意見を踏まえて、みんなで決めた解決策に思いをもって、取り組むことができたこと 。それと、自分の意見を、 自分の意見だけでなく、相手の意見を踏まえて考えを述べられるようになったこと 。それと、自分の意見を、 自分の意見だけでなく、相手の意見を踏まえて考えを述べられるようになったこと 。
29 教師	人の話を聴けるようになって成長した。変わったなと思ったことなんだね。素晴らしいじゃん。

3.2 発言している人の方を向いて聞き、仲間と関わり合うことができたB児

B児は、仲間と関わり合って活動することが苦手な男の子であった。5学年当初は、授業中に寝ていたり、ふざけた行動を取ってしまったりすることから、仲間から強い口調で注意を受け、冷たい目で見られることが多かった。その結果、友達と関わるのができず、一人で行くことが多かった。

ただ、B児が司会を務めた5年次の第15回クラス会議。周りの友達との協力を得ながら、話し合いを円滑に進行しようと努力していた。みんなの前で、話すことが苦手であったが、**一生懸命取り組み、仲間の意見を踏まえて、仲間の仲間に聴く姿勢を大切に**、仲間の考えを踏まえながら仲間と意見を出し合う楽しさを感じることができた。B児は協働の楽しさを実感していた。

インタビューでは、クラス会議を通して、5年生の時に比べて、「**人の話を聴けるようになったこと**」と成長を述べている。また、**人の話を聴けるようになったこと**や、友達の意見に納得でき、みんなで決めた解決策に思いをもって、取り組むことができた成長が伺える。

B児は、人の話を聴く姿勢を大切に、仲間と協働することの楽しさを実感した。

「クラス会議をしてみて感じたこと、成長したこと」についてのインタビュー

発言者	発言内容
55 教師	クラス会議をみて、成長したことってある？
56 B	クラス会議やって、 人の話を聴けるようになったこと 。それと、自分の意見を、 自分の意見だけでなく、相手の意見を踏まえて考えを述べられるようになったこと 。それと、自分の意見を、 自分の意見だけでなく、相手の意見を踏まえて考えを述べられるようになったこと 。
59 教師	うーん、なんでもかきとっていったのかな？
60 B	うーん、やっぱり、その、 自分の意見を踏まえて、相手の意見を踏まえて、みんなで決めた解決策に思いをもって、取り組むことができたこと 。それと、自分の意見を、 自分の意見だけでなく、相手の意見を踏まえて考えを述べられるようになったこと 。それと、自分の意見を、 自分の意見だけでなく、相手の意見を踏まえて考えを述べられるようになったこと 。
61 教師	なんでもかきとっていったのかな？
62 B	うーん、やっぱり、その、 自分の意見を踏まえて、相手の意見を踏まえて、みんなで決めた解決策に思いをもって、取り組むことができたこと 。それと、自分の意見を、 自分の意見だけでなく、相手の意見を踏まえて考えを述べられるようになったこと 。それと、自分の意見を、 自分の意見だけでなく、相手の意見を踏まえて考えを述べられるようになったこと 。
63 教師	なんでもかきとっていったのかな？
64 B	うーん、やっぱり、その、 自分の意見を踏まえて、相手の意見を踏まえて、みんなで決めた解決策に思いをもって、取り組むことができたこと 。それと、自分の意見を、 自分の意見だけでなく、相手の意見を踏まえて考えを述べられるようになったこと 。それと、自分の意見を、 自分の意見だけでなく、相手の意見を踏まえて考えを述べられるようになったこと 。
65 教師	うーん、なんでもかきとっていったのかな？
66 B	うーん、やっぱり、その、 自分の意見を踏まえて、相手の意見を踏まえて、みんなで決めた解決策に思いをもって、取り組むことができたこと 。それと、自分の意見を、 自分の意見だけでなく、相手の意見を踏まえて考えを述べられるようになったこと 。それと、自分の意見を、 自分の意見だけでなく、相手の意見を踏まえて考えを述べられるようになったこと 。
68 教師	うーん、なんでもかきとっていったのかな？

3.3 学級集団の変容 ～計51回の子ども主導の話し合いを通して～

- ・仲間が共感的に聴いてくれる姿勢によって、クラス会議の輪の中に、**話し合いの決まりの確認**がなされた。
- ・クラス会議の議題を事前に決めておくことで、時間いっぱいまで解決策を考えようとする姿勢が見られた。
- ・仲間から出た議題を、仲間のために実際に考えようとする姿勢、**共感的な人間関係を育成し、対話の基礎を構築するクラス会議の有効性**を実感できる。理想的なクラス会議にするためには、児童が以下のような意識の変容を持つことが重要であると考えられる。

4 成果と課題

- 友達の話を共感的に聴き、協働的に課題を解決することによって、**対話的な学びを支える関係性が構築されていった**。また、クラスの仲間が提案した課題をみんなで解決策を出し合い、解決していくことを体験した子どもたちは、**自分の考えを主張することが出来るようになった**。
- 本実践の児童の様相から、共感的な人間関係を育成し、対話の基礎を構築するクラス会議の有効性を実感できる。理想的なクラス会議にするためには、児童が以下のような意識の変容を持つことが重要であると考えられる。
- ① 相手の考えを否定せず、相づちをうったり、反応したりしながら共感的に聴く**
- ② 仲間から出た議題を自分事として、仲間のために一生懸命考えようとする**
- これらの要件を満たした、クラス会議実践を継続していくことで、共感性のある学級集団へと変容し、対話的な学びを推進していくと考える。
- 今後の課題として、クラス会議では、**合意形成を図っていく場面に弱い**。本学級でも、皆が納得するために話し合い解決を合体するなど合意形成を図ろうとする姿も見られたが、話し合いの進行がうまくまとまらず、雰囲気が悪くなる場面が多々見られる。**学級活動で目指す資質・能力の育成を図る教師の役割について今後検討していく必要がある。**